

グループホーム福寿草と 七塚下組町内会の取組 (安東学区)

令和7年1月28日(火)

グループホーム福寿草	管理者	中村 淳恵
七塚下組町内会	会 長	竹本 久男



本日の内容

1 町内会員「グループホーム福寿草」

2 いきいき百歳体操

3 その他の町内会との取組

4 町内会として



1 町内会員「グループホーム福寿草」

平成12年 介護保険法が創設。

同年 区内初のグループホームとして、
安佐南区相田の民家を借りて開設。

【町内会との関わり】

● 開設当初から入居者1人ずつ町内会に加入

- ・ 当時の町内会長から「入居者も住民だから」とお誘い
- ・ 会費は一般世帯の半額。75歳以上の方は祝金を支給（一般世帯と同様）

● 日常生活の中で地域住民との交流を深める

- ・ こども会や町内会行事（とんど・地域清掃等）に参加
- ・ 施設職員と入居者が町内を散歩することを日課とし、地域住民とお互いに挨拶や声を掛け合ってきた。



2. いきいき百歳体操



令和2年 いきいき百歳体操「七塚クラブ」開始。
グループホーム福寿草の入所者3名
が施設職員の送迎により参加。

令和5年～ 参加されいた利用者が体調不良等
により、現在、利用者の参加はない。



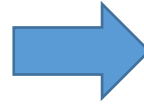
地域住民との貴重な地域の交流の場であった。

3. その他のグループホーム福寿草と 町内会の取組

グループホーム福寿草の現状

①避難訓練

入所者の重度化・高齢化により外出することが困難になっている。

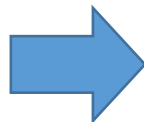


現状を踏まえた町内会の取組

夜間は職員一人体制となるため、発災時を想定し、グループホームの運営推進会議で地元防災士も参加し避難訓練を実施。

②環境整備

以前は敷地内の草抜きをする入所者がいたが、現在はおらず職員も入所者の介護で精一杯でこまめに草抜きをする余裕はない。



学区社協等に対応できないか検討中。入所者の重度化によりゴミの増加、ゴミ出しの負担も増加していたため、グループホームの敷地内に町内会費でゴミ捨て場を設置。

4. 町内会として

- ・みんなの想いを聞いてできることから柔軟に対応してきた
- ・地域ぐるみでこどもから高齢者までみんなで支え合える地域を

